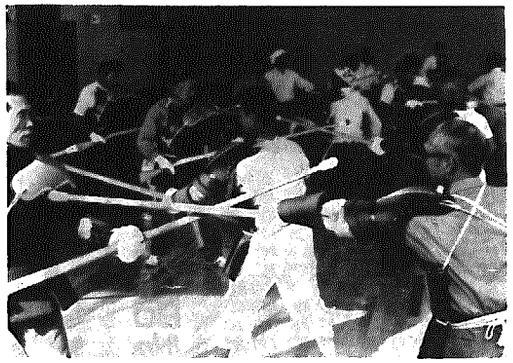
総合体育館・公民館の催し



銃剣道連盟 道場開きで一汗流す

魚釣り大会 釣果ふるわず

九月十七日、緒立の横江堀で行われた町民魚つり大会は、台風の影響で時折り雷をともなった強い雨の降る中で、六十人の釣り天狗が参加して、午前五時三十分から十時三十分までの五時間にわたって、大漁賞、大物賞をめざして、それぞれ日頃の腕を競い、奮闘の決果、次の人が入賞しました。

○大漁の部（一般）
優勝　吉田玉栄　一・一kg（みみず会）
二位　清水寅三郎（五区）
三位　星　重偉（スワ町）

○大魚の部（一般）
優勝　吉田政作　二四cm

○鯉の部
那須野一男　三三・五cm（木場新田）

○大漁の部（学生）
優勝　金子憲一（黒鳥）

九月二日、総合体育館武道館で先に発足した、銃剣道連盟の道場開きが、部員四十人が参加して行われました。

当日は、新潟市や郡内町村の指導、支援を得、新調した防具を身につけ、全員が三十数年ぶり手にする木製の銃剣に感慨もひとしお、型や基本練習で一汗洗し、道場開きを終了しました。

会では、体力の向上、健全なスポーツとして今後も発展を図るため若い人の入会を希望しています。

文化財めぐり 参加者募集

黒埼町公民館主催で例年行っております文化財・史跡巡りを左記の日程で行います。

日　程　十月三十日、三十一日
十一月一日（二泊三日）
見学場所　金沢、能登を中心とした文化財・史跡
参加費　一人　三万一千円
募集人員　四十名
交通機関　デラックス観光バス
申し込み　参加費を添え総合体育館へ申し込み下さい。

なお不明の点につきましては、教育委員会TEL(7)5211までおたずね下さい。

町民音楽芸能祭

第五回町民芸能音楽祭を次の日程で行います。お誘い合せて多数ご観覧下さい。

期日　十月二十九日(日)
時間　午前九時開館
会場　総合体育館

「美容と健康」婦人バレーボール大会

明るい家庭づくり町内婦人の体力向上、健康な心身の保持増進、を図る目的で、昨年第一回に続き今回も計画致しました。来る十一月五日（日曜日）総合体育館に於いて、町内婦人バレーボール大会を開催致します。ふるって参加下さい。参加は大字か自治体で参加願います。競技に参加されない方は是非応援の参加を!!

詳細は教育委員会まで、TEL(7)5211。

町内一周駅伝マラソン

黒埼町文化祭記念行事として十一月三日（文化の日）に、町内一周駅伝マラソンを行いますので多数ご参加ください。

参加資格……黒埼町在住者で中学生以上にかぎる。

チーム編成……公民館分館対抗とし、①チーム正選手十名で一周二十三キロメートルをリレー方式で行います。

詳細は、黒埼町教育委員会　電話(7)5211へ。

江端君に次いで土屋孝子さんも全国大会出場

十一月九日より国立競技場で行われる全国青年団大会陸上の部に、土屋孝子さんが新潟県女子リレー選手として出場いたします。

新刊書案内

▽あの車が憎い▽統会津八一人と書▽民選知事五代▽おりん母子伝▽深夜草紙▽スターウォーズ▽雲霧仁左衛門▽不毛地帯▽お吟さま▽ライフワークの見つけ方▽落ちこぼれ英才塾▽登山技術入門▽戸隠伝説▽ぼくは深夜を解放する▽アグネスチャン▽懐かしい恋人たち▽鳥海山▽舞いの家▽果て遠き丘▽燃えつきる日々▽乱れからくり▽赤富士殺人事件▽雲上飛行▽楼閣に向って▽維新の志士と女たち▽空の城▽汽車は遅れなかった▽わが蓄財の秘訣▽頭のいい税金の本▽大相撲への招待▽仏事のしきたり▽創価学会の野望▽農協月へ行く▽少年野球ルール▽新潟の川釣り▽風子▽自治省残酷物語▽花の浮草▽鳥獣の寺▽聖職の碑▽赤ちゃんの名づけ方字典▽赤ちゃんの12ケ月▽汚染海域

読書の秋です!

本を読んで
知識を高めよう!!

粟島探訪 ③

夜景のイカ釣りの漁火も赤みものであった。民宿は所謂民宿のよさで、家庭的雰囲気の中で暖かく接してくれて宿の人々にスレのないのがたまらなくいい。何時までも取らんかな主義に堕する事なく、永続きする事を願うものである。

八幡社

釜谷には松浦市左エ門の裏手の山に塩竈六社神社がある。名前からして釜谷部落の成立が考えられそうであるが、此の丘に部落中の倉庫もある。津波に備えての生活の知恵であろうが、その守りが此の神社である。

この外に八幡社がある。釜谷から徒歩で三十分、標高百m（地図の上では九九mであるが新潟地震で一m隆起したからちょうど百mか）の山上にある。もと八幡鼻にあったのを昭和三十八年木場の有志と釜石部落の人々の寄進によって現在地に移築された。

百mと言っても海面から見上げるのでとても高く感じる。その山道を一歩ずつ階段状に刻んで足場を作り、登り易くしてある。部落の人達の尊崇の念が感得できる。社屋は二間の三間位のセメント瓦葺の小さなものであるが、本殿と拝殿に仕切られている。あたりは榎・真弓等の古木が鬱蒼として繁茂し、人界から隔絶して静寂を保ち、森厳自ら人の襟を正さしめる。

木場との結びつき

「越後木場の郷土誌」にも書いてあるが、昔からこの八幡社と木場の八幡神社の祭神が同一であるとの伝説がある。概説すると「木場の八幡神社の御神体は、本山際家の祖先の冑の八幡座に納められていた一寸八分（五・四cm）の金銅像であった。ある時、乞食がお宮に宿を借りたが、夜中になると何度も縁の外に投げ出された。とう〳〵腹を立てこの神様のせいだとして御神体を取り、附近の川に投げ捨てた。一方、釜谷の松浦次郎兵エ（市左エ門は誤り）のお姿さんが岩場に打ち上げられている神様を見つけ、勿体ないというので家に安置した。後に部落の人達と相談して現場の八幡岬にお宮を作ってお祀りした。世に「流れの八幡」と呼んでいた。その後色々尋ねた結果、木場のお宮の御神体である事が判明した」という。

もらってうれしいお祝い電報

秋の結婚シーズンがやってまいりました。

おふたりの華やかな門出のために、生涯の記念として残る「お祝い電報」をご利用下さい。

電話で電報を打つ時は「一一五」をダイヤルすると、電報の受付係が応答します。

なお、大安の日や日曜日、祝日などは電報の受付けが大変混みますので、まえもって日時、場所などがおわかりのときには「配達日指定」の電報をご利用ください。

配達日指定の電報は、十日前から受付けております、ご希望の日の配達はもちろん「午前」または「午後」の配達も指定できます。

配達日指定として、配達日の「三日以前」にお打ちになりますと、「一五〇円割引き」となりますので是非ご利用ください。

電話の向うはどんな顔

大野町電報電話局
着信無料七一二六〇〇

くらしの知恵

調味料のコツはサシスセソ

料理を作る時に使う調味料も、使い方によっては調味料としての効果が得られないということがあります。

調味のコツはサシスセソとよくいわれますが、サは酒、砂糖、シは塩、スは酢、セはしょう油、そしてソは味噌ということです。これは味のしみやすさ、風味を保つなどの順となっていますので理にかなっています。

このサシスセソも、味をゆっくりしみ込ませたい時は、少しづつ何回にも分けて加えます。また、中華料理のように、調味料を手早く加える必要のある時は、前もって全部を合わせておくとよいでしょう。

調味料を使う目的には、味つけの他に、場合によっては保有性を増したり、弾力性や粘りが出たり照りやつやを出すという効果もあります。

九月歌会　短歌会

陽に灼けし庭の草木も長月に入りし雨に色を増すなり　青木　留吉
夜通しに油を燃やす籾干燥気がかりとなり熟睡出来ず　松沢　虎男
飢に泣く郷人の難救はんとわが首賭けし源助の墓祠　柏　直樹地
穂漬を見した昨日の奥只見今日吾が濠沿ひ穂を吹かんとす　酒井　庄平
新しく引き渡へたる水吸いて稲すくすくと穂を揃へ伸ぶ　平松清次郎
秋盛り籾殻が舞ふ村中を眼ほそめて職場に向かふ　風間　法子
我が家の前にガソリンスタンドの出来てより昼夜のつかぬとまどひ　阿部　浄子
川の辺に咲きこぼれたる萩の花たそがれ迫る風に波打つ　小出美喜子
真夏日を越え来て尚も咲き続く露草つゆにしとど濡れをり　泉井　ヨ子
塩味の熱き麦茶をすすりつつあしたの茶の間涼しくなれり　小林　弘
ささやかな空地で始まる宴会を励ますような満天の星　西潟たみ子